平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月7日

上場会社名　株式会社 ホーブ　　上場取引所　大
コード番号　1382　URL　http://www.hob.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）高橋　巖
問合せ先責任者（役職名）取締役管理部長　（氏名）鶴島　正　TEL 0166-83-3555
四半期報告書提出予定日　平成24年5月11日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績（平成23年7月1日～平成24年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	2,997	△6.5	△8	—	△5	—	△8	—
23年6月期第3四半期	3,206	△1.0	50	△52.3	53	△51.5	25	△56.8

（注）包括利益　24年6月期第3四半期　△8百万円　（—%）　23年6月期第3四半期　25百万円　（—%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	△1,104.43	—
23年6月期第3四半期	3,388.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第3四半期	1,275	1,002	78.6	131,499.65
23年6月期	1,278	1,059	82.9	139,103.74

（参考）自己資本　24年6月期第3四半期　1,002百万円　23年6月期　1,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	6,500.00	6,500.00
24年6月期	—	0.00	—		
24年6月期（予想）				2,500.00	2,500.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年6月期の連結業績予想（平成23年7月1日～平成24年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,750	△1.5	11	△18.6	16	△30.6	9	△1.5	1,194.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無
　新規　―社　（社名）　　、　除外　―社　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　有
（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
② ①以外の会計方針の変更　：　無
③ 会計上の見積りの変更　：　無
④ 修正再表示　：　無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年6月期3Q	7,620 株	23年6月期	7,620 株
② 期末自己株式数	24年6月期3Q	― 株	23年6月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年6月期3Q	7,620 株	23年6月期3Q	7,620 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成23年７月１日～平成24年３月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による一時的な経済活動の停滞感は徐々に回復基調となっているものの、欧州諸国の財政問題や、円高の長期化、原油価格の上昇傾向、個人消費の低迷等、依然として先行き不透明な厳しい状況が継続いたしました。

こうした状況の中、当社グループは仕入販売事業の主力商品でありますいちご果実の販売を中心に取組んで参りました。

また、連結子会社であります株式会社エス・ロジスティックスにおきましては、効率的な配送業務に取組んでまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高2,997,175千円（前年同期比6.5%減少）、営業損失8,974千円（前年同期は営業利益50,802千円）、経常損失5,940千円（前年同期は経常利益53,270千円）、四半期純損失8,415千円（前年同期は四半期純利益25,821千円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

・仕入販売事業

仕入販売事業の主力商品は業務用いちご果実であります。

当第3四半期連結累計期間におけるいちご果実の販売は、11月中旬頃までは、当社の自社品種、及びアメリカ産輸入いちごの販売を行い、その後は促成いちご（とちおとめ、さがほのかなど）が販売の主体となります。

当期間中の自社品種の生産状況は、前年に発生した灰色カビ病を抑制したことにより、概ね安定して推移しました。またアメリカ産輸入いちごの仕入体制を新たに構築し、自社いちご品種と併せて、積極的な営業展開及び販売を行いました。

しかしながら、洋菓子の主原材料（小麦粉、乳製品など）の高騰や、個人消費の低迷から、洋菓子メーカーを中心に、アイテムの絞込みや仕様（サイズ・数量）変更による、いちご果実使用数量の削減の動きが継続し、いちご果実の販売数は伸び悩みました。

また、促成いちご果実の出荷状況は11月に前例がない程のピークを迎えた後、一転して、12月に入ってからの全国的な寒波の影響により出荷数量が減少しました。特に、クリスマス期前後からの急激な気温低下は、当社の想定した範囲を超えたものとなり、クリスマス期以降から年末までのいちご市場相場価格は、例年にない程の高値で推移したため、仕入れ価格上昇分を販売価格に転嫁しきれず、予め取引価格を取り決めていた一部販売先の利益を圧迫する結果となりました。

年明け後も寒波の影響は継続し、促成いちごの市場等へのいちご果実の入荷数量が少なくいちご市場相場価格が高止まりで推移することとなり、仕入価格が上昇することとなりました。

こうしたことから、いちご果実の販売数は前年同期に比べ約11.6％減少することとなりました。

一方、当期間中の青果の販売につきましては、大手コンビニエンスストアのデザートアイテム向け商材の販売を中心に、概ね好調に推移し、売上高は前年同期に比べ約10.6%増となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の仕入販売事業の売上高は、2,910,105千円（前年同期比6.6％減少）、営業利益は、147,557千円（前年同期比33.9％減少）となりました。

・種苗生産販売事業

種苗生産販売事業は自社いちご品種を中心に種苗の生産販売を行っております。自社いちご品種の栽培方法には秋に苗を定植し、翌年に果実が生産される秋定植と、春に苗を定植し果実を生産する春定植の概ね２体系の作型があります。その販売は、春定植用苗を中心としており、当第３四半期連結累計期間においては、秋定植用苗の販売が終了し、春定植用苗の販売を行っております。

ここ数年来続いた高温や多湿となった気象条件により、いちご栽培の規模縮小や、生産を中止する生産農家、異業種から参入した農業生産法人もいちご栽培から撤退する動きがあります。

当期間においては、栽培指導を徹底したことで、収量性の向上は図られてきているものの、自社品種の販売本数の減少を抑えることができず、前年同期に比べ約７万本減少することとなりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における種苗生産販売事業の売上高は、41,857千円（前年同期比18.6％減少）、営業利益は13,466千円（前年同期比14.6％減少）となりました。

・運送事業

運送事業は、株式会社エス・ロジスティックスが行っております。関東圏を中心とした事業展開で、当社の商品配送を行いつつ、他社からの配送業務を積極的に受託してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における運送事業の売上高は、45,212千円(前年同期比13.5%増加)となりました。営業利益は、自社車両の効率的運行管理により自社配送原価を圧縮できたこと等によって、5,218千円(前年同期比120.8%増加)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比較して12,398千円増加し、当第３四半期連結会計期間末で779,548千円となりました。これは現金及び預金が減少しているものの、売掛金の増加があったことが主因であります。

（固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末と比較して15,090千円減少し、当第３四半期連結会計期間末で495,993千円となりました。これは投資その他の資産の増加はあったものの、有形固定資産の減少が主因であります。

（流動負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して52,825千円増加し、当第３四半期連結会計期間末で236,914千円となりました。これは買掛金及び賞与引当金の増加が主因であります。

（固定負債）

固定負債は、前連結会計年度末と比較して2,426千円増加し、当第３四半期連結会計期間末で36,600千円となりました。これは長期借入金が減少したものの、退職給付引当金の増加が主因であります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末と比較して57,943千円減少し、当第３四半期連結会計期間末で1,002,027千円となりました。この結果自己資本比率は、前連結会計年度末の82.9％から78.6％になっております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点で平成24年２月３日公表の業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	400,936	300,296
売掛金	295,427	387,705
たな卸資産	61,932	71,073
未収還付法人税等	5,653	－
その他	18,486	36,216
貸倒引当金	△15,286	△15,742
流動資産合計	767,149	779,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	158,018	150,206
機械装置及び運搬具（純額）	77,943	70,431
土地	79,291	79,291
その他（純額）	2,491	1,814
有形固定資産合計	317,745	301,743
無形固定資産	4,513	4,011
投資その他の資産		
投資有価証券	150,532	150,537
その他	38,715	39,751
貸倒引当金	△423	△50
投資その他の資産合計	188,824	190,238
固定資産合計	511,083	495,993
資産合計	1,278,233	1,275,542
負債の部		
流動負債		
買掛金	89,224	151,911
1年内返済予定の長期借入金	11,704	5,312
未払法人税等	385	1,925
賞与引当金	－	9,322
その他	82,775	68,443
流動負債合計	184,088	236,914
固定負債		
長期借入金	2,120	－
退職給付引当金	29,274	33,789
資産除去債務	2,779	2,811
固定負債合計	34,173	36,600
負債合計	218,262	273,514

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	432,250	432,250
利益剰余金	206,659	148,713
株主資本合計	1,060,159	1,002,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△189	△186
その他の包括利益累計額合計	△189	△186
純資産合計	1,059,970	1,002,027
負債純資産合計	1,278,233	1,275,542

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	3,206,107	2,997,175
売上原価	2,526,138	2,392,742
売上総利益	679,969	604,433
販売費及び一般管理費	629,167	613,407
営業利益又は営業損失（△）	50,802	△8,974
営業外収益		
受取利息	166	81
債務未請求益	555	1,167
商品毀損補償受入益	201	707
その他	1,885	1,271
営業外収益合計	2,809	3,227
営業外費用		
支払利息	340	185
その他	0	8
営業外費用合計	340	193
経常利益又は経常損失（△）	53,270	△5,940
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,753	－
固定資産売却益	149	679
過年度消費税等	4,261	－
特別利益合計	7,165	679
特別損失		
固定資産除却損	85	39
投資有価証券売却損	6,553	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,912	－
特別損失合計	8,551	39
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	51,884	△5,299
法人税等	26,063	3,116
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	25,821	△8,415
四半期純利益又は四半期純損失（△）	25,821	△8,415

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年７月１日 至　平成23年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	25,821	△8,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	3
その他の包括利益合計	31	3
四半期包括利益	25,852	△8,412
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,852	△8,412
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成22年７月１日 至平成23年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	仕入販売	種苗生産販売	運送			
売上高						
外部顧客への売上高	3,114,863	51,395	39,848	3,206,107	－	3,206,107
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	125,868	125,868	△125,868	－
計	3,114,863	51,395	165,717	3,331,976	△125,868	3,206,107
セグメント利益	223,308	15,778	2,363	241,449	△190,647	50,802

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△190,647千円には、セグメント間取引消去2,795千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△193,443千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成23年７月１日 至平成24年３月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	仕入販売	種苗生産販売	運送			
売上高						
外部顧客への売上高	2,910,105	41,857	45,212	2,997,175	－	2,997,175
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	129,645	129,645	△129,645	－
計	2,910,105	41,857	174,857	3,126,820	△129,645	2,997,175
セグメント利益	147,557	13,466	5,218	166,242	△175,217	△8,974

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△175,217千円には、セグメント間取引消去4,218千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△179,436千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

（重要な子会社等の設立）

当社は、平成24年４月20日開催の取締役会において、下記のとおり子会社を設立することを決議いたしました。

１．子会社設立の目的

当社は、国産いちごを中心とした事業展開を行ってまいりました。今般、輸入いちごを始め、輸入青果物を積極的に販売する方針のもと、輸入青果物を専門に取扱うことを目的とし、当該子会社を設立いたします。

２．子会社の概要

（１）	商号	株式会社ホーブ21
（２）	代表者	政場　秀（当社取締役）
（３）	所在地	東京都江東区新木場
（４）	設立予定日	平成24年５月11日
（５）	主な事業内容	輸入果実の仕入販売
（６）	資本金	９百万円
（７）	出資比率	当社 100％